

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
政治思想史	井口 吉男	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	ヨーロッパの著名な思想家の政治思想を中心に講義を行う。現在は政治・行政のしくみが複雑化した時代である。けれども、むしろこういう時代だからこそ、いにしへの思想家たちが世に残した古典的著作をひもとき、政治について根本的かつ原理的な考察を行うことが大切になってこよう。						
到達目標	① 政治に関する諸概念の意味を理解する。 ② 各思想家の政治思想の全体像を把握する。 ③ 政治について原理的に考察する力を習得する。						
回	学習内容						
1	ガイダンス プラトンの政体論						
2	ストア派における「個人」と「国家」						
3	マキアヴェリの君主論						
4	カルヴァン——「神」と「政治」						
5	ホッブズと「リヴァイアサン」						
6	ロックと社会契約						
7	モンテスキューと権力分立						
8	ルソーと「一般意志」						
9	スミスと「自由放任」						
10	バークの保守思想						
11	トクヴィルと大衆社会						
12	マルクスと共産主義						
13	ヴェーバー——「信条倫理」と「責任倫理」						
14	西欧政治思想における「自由」						
15	現代の政治思想 今回はアレントについて講じる その後、学期末試験						
予習内容 復習内容	予習：次回とりあげる思想家の生涯について調べること。 復習：配布したレジюмеに目を通し、とりあげた思想家と「対話」すること。						
教科書	テキストは使用しない。レジюмеを毎回、配布する。参考文献は講義のなかで紹介。						
成績評価	試験（100％）を基本とするが、平常の受講姿勢も加味する。 毎回、出席をとる。5回を超える欠席をした場合、評価対象外となる。						
実務経験							
その他 特記事項	西欧政治思想の世界の奥深さを味わってほしい。						